

先輩からのメッセージ



独立行政法人 地域医療機能推進機構
群馬中央病院初期臨床研修医
須田 恵理香

小児科、麻酔科、精神科を経て、内科にて研修中です。最初は分からないことだらけで戸惑っていましたが、徐々に業務に慣れてきて、自分の勉強をする余裕が出てきたので、楽しく、毎日充実して研修しています。内科では日常的な診察や処方はもちろんのこと、心臓カテーテルなど専門性の高い治療にも関わらせていただいています。実際に医療に関わることで初めて分かることが多くあり、有意義な研修ができていると実感する毎日です。今後も励んでいきたいと考えています。



群馬大学医学部医学科5年
星野 礼央和

僕は今、大学病院での臨床実習を行っています。現役の医師に教わりながら病棟や外来で実習をし、一人前の医師になるべく日々勉強しています。地域医療枠は、将来群馬県で働く事を考えているなら非常にいい制度だと思います。金銭面のサポートの他にも年に数回病院見学ツアーを企画してくれたり、群馬県地域医療支援センターの先生方が将来のキャリアパスについてなど色々相談に乗ってくれたりします。群馬はとて素晴らしいところ。一緒に群馬の医療を盛り上げていきましょう！



群馬大学医学部医学科4年
高橋 朋宏

医学部の授業では人体や病気、治療など、面白い授業が待っています。でも、低学年のうちは講義室や実験室が多く病院実習の機会は少ないです。そんな中、地域医療体験セミナーでは各地の病院で体験をさせていただくことができます。各病院の特徴を知ることができ、低学年でも医療者の視点での実習が可能です。学んだ内容が現場でどう生きてくるのかを体験すると日頃の学習の助けにもなると思います。皆さんぜひ参加してみてください。



群馬大学医学部医学科4年
中村 美紀

低学年の頃から地域医療体験セミナーに参加することで、群馬の地域医療について知り、将来のイメージがつかみやすくなったと感じています。また先生方や先輩方からお話を聞く機会も多く、地域医療枠で入学して良かったなと思います。現在病院実習が始まって、今まで学んだことを臨床の現場で実感しています。群馬の地域医療に貢献できる医師を目指し、今後とも勉学や諸活動に励んでいきたいと思っています。



群馬大学医学部医学科3年
福田 一将

普通に息をとめるより、深呼吸を数回してから息をとめた方が長く耐えられるのはなぜか。朝から甘いものを食べると気持ち悪くなるのはなぜか。大学に入るまで人体って不思議だなと思っていたことの答えが学べるのが医学の良いところのひとつです。病気のメカニズムや人体構造など覚えることや理解することは山ほどありますが、辛さよりも「そうだったのか!」という楽しさの方が大きいです。



群馬大学医学部医学科3年
加藤 悠介

私は、1年次にセミナーに参加させていただいた時に、知識のなさを体感しました。しかし、それと同時に、医療現場の雰囲気や間近で体感できました。そこで、医療に携わる様々な職種の方々の連携を見ることができました。この経験は、知識のないままさらな状態だからこそできることです。4年次までは、実習に参加する機会が少ないので、早いうちに積極的にセミナーに参加して、大学の講義で経験できないことを経験しましょう。



群馬県地域医療支援センター

群馬県前橋市昭和町3-39-15 Tel.027-220-7938 Fax.027-220-8781
Mail. gunma-chiiki@gmcc.jp URL. http://www.gmcc.jp/

明日の医療人をめざして

命を救う、苦痛や痛みを和らげる、心を癒す、成長を見守る、機能を回復させる、病気を予防する・・・。

医療は、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、栄養士などの多くの医療人や周辺の医療機関と連携を取り合うことで成り立っています。我々は、将来の地域医療を担う医療人を地域の中で育成していきます。



群馬県地域医療支援センター